

説 教 「オープン・チャーチ礼拝」 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2020年5月24日（日）

主 題：「あなたが生きるヒント」
—小さな親切—

テキスト：ガラテヤ人への手紙6章7－10

はじめに

- ・今の時代、人は生きるヒントを求めています。どう生きれば良いか？
先行きが不透明な社会です。とくに今は「コロナ問題」で、経済的大ピンチに遭遇している方々は少なくありません。「コロナ問題」が速やかに収束することが、一番の願いです。専門家は第2波、第3波は来るであろうと、語っています。「コロナ問題後」どう生きればよいかは、大きなクエスチョンです。
- ・先日、大阪市では市会議員の補欠選挙がありました。私の住んでいる所の前には大型スーパー店舗があります。それは夕刻時でした。多くの人々が食料品を買い求めるため、スーパーにやって来ました。正面玄関前の少し横あたりに、1人の選挙運動員が大きなバナーを立て、大型スピーカーを横において、テンション高く支持する候補者への投票を呼び掛けていました。
- ・私は信号待ちで、その宣伝文句が自然に耳に入ってきました。彼は「大阪の社会を変えましょう！」と力説していました。社会の不正、腐敗、汚職などを上げて、社会を変える必要があると、力説していました。確かに社会を変えることは、とても大切なことです。
- ・私はその時、ふとロシアの文豪トルストイの言葉を思い浮かべました。彼はこう言いました。「だれもが世界を変えたいと思うが、だれも自分自身を変えようとは思わない。」 そのとおりです。人は自分の主張を叫びますが、自分の意思や性格を変えようとはしません。
- ・人の心中は、悪意、不義、貪欲、憎悪、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪だくみ等があります。そんな人間が、どうして社会を変えられるのでしょうか。聖書は次のように語っています。「【主】は、地上に人の悪が増大し、その心に凶ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。」 創世記6:5
人類は歴史のはじめから、人の心に凶ることは悪に傾むいている、と聖書は語っています。
- ・愛する皆さん。社会を変えたい！自分の人生を変えたい！ 他の人の人生を変えてあげたい！ と私たちは願います。しかし、現実には「変えること」、そして「変えられること」は本当に難しいことですね。

- ・しかし聖書は、ヒントを与えてくれています。聖書は、まず神が天地を創造したと明言しています。そしてその神があなたに人生を与えられました。さらに、その人生をどう管理するかは、神があなたに任せておられると語っています。ですから、あなたは、あなたの人生の管理者です。あなたに一度しかない人生、あなたはどのように生きているでしょうか。今日は「**あなたが生きるヒント**」を、お伝えしたく思います。創造神は、私たちが生きるために2つのヒントを教えています。

大切なポイント

1. 神の原則を知る

1) 自然界は神の原則を示す

- ・自然界を見れば、ある一定のルール（原則）があることが分かります。例えば、植物の発育と気候・温度の関係。空気の酸素、二酸化炭素、水素、その他の含有物の比率等です。自然界は、無秩序ではありません。目には見えませんが、そこに、一定の原則があることは周知の事実です。聖書はこう語っています。使徒の働き 17章

17:28 「**私たちは神の中に生き、動き、存在している**」

- ・これは「神の原則」を教えているものです。私たちは自分の人生の管理人として、自分の人生を正しく管理することが求められています。
- ・しかし、「神の原則」を無視して生きるならば、能率の悪い歩み方となります。なぜなら、神の原則に勝てる人は、誰一人いないからです。ガラテヤ人への手紙では、次のように書かれています。

6:7 **思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。**

6:8 **自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊に蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。**

- ・今、世界で起っている自然環境の破壊は、汚染や廃棄物が大きな原因であると言われています。自然界を破壊してしまうほど、空気を汚しているのです。（公害問題）この点は、もう触れるまでもないでしょう。
- ・ですから自然界を通して、神の原則を知ることは、私たちが生きる大切なヒントです。

2) 大切な神の原則を知ること

- ・聖書の民であるイスラエルは、そもそも神が預言者モーセに与えた律法（分りやすく言うならば、憲法 or 法律）で出来ている国と言えましょう。イスラ

エルと「十戒」は切り離すことはできません。ある時のこと、イスラエルの律法の専門家がイエスのもとに来て、次のように質問しました。

マタイの福音書 22章

22:36 「先生、律法の中でどの戒めが一番重要ですか。」

22:37 イエスは彼に言われた。「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』

22:38 これが、重要な第一の戒めです。

22:39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。

22:40 この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」

(律法と預言者の全体とは聖書を指します)

- ・ イエスはここで、2つの大切なポイントを教えられました。

① 「あなたの神、主を愛すること」

② 「隣人を愛しなさい」

共通点は「愛すること」です。

- ・ この律法の専門家と同じように、1人の青年実業家がイエスに同じように質問をしました。 マタイの福音書

19:16 すると見よ、一人の人がイエスに近づいて来て言った。「先生。永遠のいのちを得るためには、どんな良いことをすればよいのでしょうか。」

- ・ どうすれば「神の国に入れるか？」と。するとイエスは言われました。

19:19 父と母を敬え。あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」

イエスは、同じように答えられました。

① 「父と母を敬いなさい」

② 「隣人を愛しなさい」

- ・ すると青年はいました。

19:20 この青年はイエスに言った。「私はそれらすべてを守ってきました。何がまだ欠けているのでしょうか。」

19:21 イエスは彼に言われた。「完全になりたいのなら、帰って、あなたの財産を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つこととなります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」

19:22 青年はこのことばを聞くと、悲しみながら立ち去った。多くの財産を持っていたからである。

- ・ 青年とありますから、彼は若くして成功した人でした。優秀な人物であったことに、間違いはないでしょう。財産を売り払い、「施し」を行いなさいと、いうことは「愛の行い」であり、律法を実践することになります。

- ・ユダヤ社会で神へ信仰を持つ人には、①祈り、②断食、そして③施しの3点が求められていました。ですから、イエスは戒めを守っていると彼に、その信仰を求められたのでした。しかし、彼はその実践ができませんでした。
- ・彼はイエスから「永遠のいのち」を得る手法を、直接教えられました。しかし、それを実践する道を選ぶことができませんでした。どこに、問題があったのでしょうか。聖書は「**多くの財産を持っていたからである。**」と記録しています。
- ・どうぞ皆さん。誤解しないでいただきたいです。財産が問題であったのではありません。彼の心が、財産から離れられなかったところに、問題がありました。
- ・愛する皆さん。これらのことから分かることは、神を愛すること（父と母を敬うことは、その実践）、隣人を愛すること、これが神から祝福を得る秘訣であることです。しかしながら、この青年実業家のように「愛すること」、「愛を実践すること」はむつかしいことですね。
- ・では、どうすれば、愛することを生活の中で適用することができるでしょうか。それが次のポイントです。

2. 神の原則に沿う歩み（適用）

- ・私たちの生活の難しさは、良いことが分っても、自力では不可能なことです。多くの人々が出来ない自分に、苦しんでいます。若いときは、自力でできると思うものです。しかし、人生の荒海を航海する中で、できない自分を認めざるを得ないのです。
- ・ですから、人生の嵐は決してマイナスではありません（勿論、好ましいことではないが）。神が許されて出会う嵐には、必ず意味があります。そしてその意味は、後日になって分かることです。嵐に出会うことがなければ、このようにはならなかったという事実は多々あります。
- ・では、どうすれば良いでしょうか？

1) 小さな善を行うこと

- ・先ず置かれた所で、置かれた状況を受け入れることです。そして、出来ることをすることです。**ガラテヤ人への手紙6章**
6:9 失望せずに善を行いましょ。あきらめずに続ければ、時が来て刈り取るようになります。
- ・小さな善を行うことです。それは小さな親切であるかも知れませんが、それ

でも結構です。

{例 話} 小さな親切

- 19世紀後半の話です。英国の国会議員の馬車が泥沼に入っしまい、動け国会議員は自分でなんとか引っ張ろうとしましたが、駄目でした。ところが、彼が困り果てたところへ、1人の農家の少年がやって来て、泥沼から馬車を引っ張り上げることに成功しました。
- 驚いた国会議員は、その少年に「お金はどのくらい払ったら良いかね」と尋ねました。彼は「僕は何も要りません。あなたのような偉大な方をお助けできて、光栄です。」と言いました。すっかり感心してしまった国会議員は、また尋ねました。「大きくなったら、何になりたいのか。」
- 少年は医者になりたいけれども、家庭が貧しいから無理だろうと返答しました。すると国会議員は、言いました。「あなたの学費を全部、出そう。」こうして少年は医学校に行き、医者になりました。
- それから50年後のことです。英国のウインストン・チャーチル首相が肺炎で死にかけていました。第2次世界大戦の真最中でした。英国はドイツの空襲を受けて、ピンチに立たされていました。最後の手段として、医者たちは新しく開発されたばかりの「ペニシリン」という薬をチャーチル首相に投与しました。
- すると、チャーチル首相は1日で元気になり。英国を勝利に導くことができたのですが、そのペニシリンを発明した医者は50年前に、国会議員の馬車を泥沼から引き上げたアレキサンダー・フレミング (Alexander Fleming) という少年でした。
- しかも馬車を引き上げてもらった国会議員は、ランダル・チャーチル、つまりウインストン・チャーチルの父親でした。こうして少年の小さな善行が自分の人生を変えました。また、ランダル・チャーチルの少年に対する善意が、自分の子どもの命を救い、また国を破滅から救うことにつながったのでした。
- 小さな善を行うこと、それは神が勧めておられることです。

6:9 失望せずに善を行いましょう。あきらめずに続ければ、時が来て刈り取るようになります。

- アメリカでは以前から、「小さな親切運動」が話題を呼んでいます。1人1人が毎日、隣人に対する親切を心がけていくなら、世の中が変わるということですが、それは聖書の教えとも一致した考え方です。
- もちろん、大きな働きを行うこと。それは、とても良いことです。しかし、聖書は語っています。

16:10 「最も小さなことに忠実な人は、大きなことにも忠実であり、最も小

「**小さなことに不忠実な人は、大きなことにも不忠実です。**」ルカ
 ですから、まず小さな善を行うことです。

2) イエスの忠実さにならうこと

- ・ 私たちにとって難しいことは、頭では理解していても、それを実践することの難しさです。実践できれば、それは「しめたもの！」です。そこで、言葉通りに実践されたイエスを見てみましょう。
- ・ イエス・キリストの生涯は、まさに小さなことへの「忠実」から始まりました。イエスは幼い子どもに目を向けられました。弱い人に手を差し伸べられました。病人に声をかけられました。罪のために苦しんでいた人に、声をかけられました。イエスはその彼らに近づいて、手を差し伸べられたのでした。イエスに倣うことです。
- ・ イエスは父なる神の本性である愛を、そのまま実践されました。イエス・キリストの愛の最高峰は、十字架でした。イエスは完全なお方でした。しかし不完全な者（自力でできない者）のために、ご自身の「いのち」を捧げられました。イエスは罪を知らない方でした。しかし、罪人となり十字架につけられました。イエスが流された聖い御血が、私たちの罪を洗い清めてくださいます。 **1ヨハネ1章**
1:7 御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。
- ・ イエス・キリストは死んで墓に埋葬されました。しかし3日後、復活されました。そして、世界の救済主(メシア)としての働きを、完了されたのです。ですから、私たちはイエス・キリストの内に、愛のお手本を見ることが出来ます。ですから、師であるイエス・キリストに、ならうことが大切なことです。

3) 聖霊の助けをいただくこと

- ・ イエスは次のように言われました。 **ヨハネの福音書14章**
14:14 あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。
**14:15 もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはず
 です。**
**14:16 そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えく
 ださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにし
 てくださいます。**
**14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないの
 で、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知ってい**

ます。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。

14:18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。

- ・イエスの約束、それは「もう一人の助け主」をお与えくださることです。「もう一人の助け主」とは、神の御霊、聖霊のことです。神は、ご自身の姿をイエス・キリストを通して現されました。ですから、イエスは、誰でも私を見た者は父（神）を見たのです。と言われました。
- ・しかし、イエスが天に昇られた後、神は神の霊（聖霊）を通して現れてくださいます。それが、「もう一人の助け主」と呼ばれるお方です。ですから、今は神が私たちに、直接語り、また助けてくださる時代です。
- ・では、どうすれば聖霊の助けをいただくことができるでしょうか。

それは聖霊が働いてくださる環境を作ることです。

① 罪を取り除くこと（告白）

② イエスの御血によって清めていただくこと（祈り）

③ 神を信頼すること（信仰）

- ・求めるならば、私にも現れてくださり、助けてくださいます。なんという幸いではありませんか。イエスは言われました。 **ルカ福音書**

11:9 ですから、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。

ま と め

主 題：「あなたが生きるヒント」

—小さな親切—

- ・今日、私たちは大切なことを聞きました。まとめてみましょう。

私たちの生きるヒントは、次の2点にあります。

1. 神の原則を知ること

6:7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。

人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。ガラテヤ

6:8 自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。ガラテヤ

2. 神の原則に従う歩みをする

- ・それは具体的に言えば、イエス・キリストを仰ぎ、お従いすることです。

そこに、私たちが生きる大切なヒントがあります。

* God bless you !